

熱意をもって、 部下の熱意を評価する

何事においても成功を収めていくには絶対に**熱意**が必要であり、熱意があるからこそ実行に移し、継続していくことができ夢を現実の成功へと導いていけるものだと思います。

チームリーダーは熱意を持って取り組み、成功に導いた部下には達成したプロセスの労をねぎらい、「**熱意を評価する**」ことです。忙しさにかまけたり、そんなことは当然だと思って声掛け・評価をせず、放置してしまうと、部下のモチベーションは下がり、上長との溝が広がりチーム全体にもその影響を与え、活気を失っていくことになります。

人を育てるには根気が必要であり「**気づきの育成**」「**気づかせる指導**」が大事です。

「**気づきの育成**」をするためには、とんでもないエネルギーが必要です。

エネルギーを生み出すのは「**この部下を育ててやろう**」という熱意しかないと思います。これが部下を育てる原点であり、これが全てといっても過言ではない。

熱意のない上司に、部下の熱意は判るはずが無いし、育てる熱意がなければ部下は育たない。熱意が感じられる、見てとれる上司のいるチームは、外から見ても生き活きと輝いていませんか。あなたも熱意をもって輝きを放ちましょう。

